



WEEKLY REPORT

国際ロータリー第2600地区 上田ロータリークラブ
(創立1959年11月12日)



UNITE
FOR
GOOD

よいことの
ために
手を取りあおう

2025-2026年度 国際ロータリーメッセージ

よいことのために手を取りあおう

R.I.会長 フランチェスコ・アレツツォ

国際ロータリー第2600地区 ガバナー 小林 磨史

2025-26年度 上田ロータリークラブ

- 会長 窪田 秀徳 ●副会長 内河 利夫・飯島 幸宏
- 幹事 湯田 勝己 ●会報委員長 藤森 幸路

第3002回例会 (令和7年10月27日)



ホームページQR

【会長挨拶】

窪田 秀徳 会長

「建築に宿る“絆”——近代建築三代巨匠の一人、アメリカのフランク・ロイド・ライトの教えから学ぶもの」



本年の上田RCのテーマ「地域と仲間の絆物語」に通じる話として、建築の教えから学ぶものについてご紹介したいと思います。

【1】関東大震災と“倒れなかった帝国ホテル”

(現在は愛知県の明治村に一部移築され保存されている)

1923年9月1日。東京を未曾有の大地震が襲いました。街の多くの建物が倒壊する中、奇跡的に立ち続けた建物があります。それがアメリカの建築家、『フランク・ロイド・ライト』が設計した「帝国ホテル・旧本館(通称ライト館)」です。

開業記念式典のまさにその日、関東大震災が発生しました。建物は激しく揺れ、煉瓦の壁にはひびが入りましたが、構造はびくともしませんでした。

避難してきた人々を受け入れ、ホテルは“安全の象徴”として機能し続けたのです。

ライトの緻密な構造設計、地盤への配慮、柔構造の考え方・・・そのすべてが命を守りました。

それは単なる建築の勝利ではなく、「人の命を守る建築」という信念の証でもあったのです。

【2】自由学園(東京都豊島区)との出会い

——教育と建築の理想

ライトは日本滞在中に、教育者・羽仁 吉一(はに きいち)・もと子夫妻と出会います。夫妻は「生活即教育」という理念を掲げる新しい学校をつくりたいと考えていました。その理想に心を動かされたライトは、「自由学園・明日館(みょうにちかん)」の設計を引き受けます。

明日館は、木とレンガ、光と陰が織りなすあたたかな建物です。

天井は低く、人のスケールに寄り添い、窓からは柔らかな自然光が注ぎます。

ライトは「教育の場こそ、心を育む“家”であるべきだ」と語り、子どもたちの感性を育む空間を追求しました。そこには「建築＝人を包む愛のかたち」という、ライトの哲学が宿っています。

【3】弟子たちが受け継いだ志——ヨドコウ迎賓館

ライトが帰国した後も、日本の弟子たちは彼の思想を受け継ぎました。

その代表が、兵庫県芦屋に建つ「ヨドコウ迎賓館(旧山邑家住宅)」です。設計は、帝国ホテルに携わった弟子・遠藤新(えんどうあらた)。ライトの意匠を踏襲しながらも、日本の風土に合わせて再構築しました。丘の斜面に沿って建ち、石と木が調和し、自然と一体化するデザイン。

まるで山と会話をしているかのような佇まいです。ここにも「建物は土地と一体であるべきだ」という、ライトの“オーガニック・アーキテクチャー(有機的建築)”の精神が息づいています。

【4】ライトの人柄と素材へのまなざし

ライトは奇抜な天才というより、「自然と人間を深く愛した詩人」でした。

「木には木の魂がある」「光は建築の四季をつくる」と語り、素材を“生きたもの”として扱いました。

彼の建築は決して派手ではなく、自然と響き合い、人の心を落ち着かせます。直線と曲線、光と影、内と外…すべてが“調和”の中で生きています。

【5】ライトの教えから、私たちが学ぶべきこと

ライトの建築は、100年経った今も人の心を動かします。それは、彼が単に建物をつくったのではなく、「人の幸せな時間と場所」を設計したからです。私たちもまた、家づくりや地域づくりを通して、

- ・人と人の絆を深めること
- ・自然と共に生きること
- ・次の世代に“安心”と“美しさ”を残すことを忘れてはなりません。

【6】結び——“建築は絆の器である”

ライトは晩年、こう語りました。

『建築とは、人の生活を高めるための芸術である。』

建物は単なる器ではなく、人の心を育む“場”です。「帝国ホテルが命を守り」、「自由学園が心を育て」、「ヨドコウ迎賓館が自然と調和」したように、私たちの地域や仲間の関係も、そうした“絆の建築”でありたい。

建築とは、絆をかたちにする行為

その精神を、これからの私たちの“まちづくり”にも“人と人との関係づくり”に生かしていけたら幸いです。
.....

<参考資料>

1. 落水荘 (Fallingwater, 1935年・ペンシルベニア州)
クライアント：カウフマン邸
特徴：滝の上に張り出す大胆な構造。
ポイント：自然と建築が一体化した象徴的作品。「自然の中に住む」というライトの理想を体現。
2. グッゲンハイム美術館
(Guggenheim Museum, 1959年・ニューヨーク)
特徴：螺旋状のスロープを中心に作品を展示する革新的な空間構成。
ポイント：直線ではなく曲線を多用し、「空間を流れるように感じる」美術館として建築史に残る。

3. ユニティ・テンプル

(Unity Temple, 1908年・イリノイ州オークパーク)

特徴：鉄筋コンクリート造による初期の名作。

ポイント：光と音の響きを考慮した空間設計。

教会建築の新しい形を提示した。

4. タリアセン (Taliesin, ウィスコンシン州／1911年～)

特徴：自邸兼アトリエ。自然と地形に溶け込む構成。

ポイント：「建築は土地から生まれるべき」という思想の原点。

補足：のちにアリゾナ州に「タリアセン・ウエスト」も建設。弟子たちの学び舎として機能した。

5. ロビー邸 (Robie House, 1909年・シカゴ)

特徴：水平ラインを強調した「プレーリースタイル(草原様式)」の傑作。

ポイント：一体的な家具・照明設計を含めてトータルデザインを実現。

※近代建築三代巨匠＝①ル・コルビジエ、②ミース・ファン・デル・ローエ、③フランク・ロイド・ライト

【会員卓話】

桑原 茂実 クラブ戦略計画委員長

1. 上田クラブの長所

①伝統、歴史(創立66年) ⇨

数々の社会奉仕活動、東信第二Gリーダー的存在



②構成人数(現在52名) ⇨ 多くの場面で組織力発揮する(2020年地区大会ホスト)、適材適所な委員会構成が出来る。ピーク時81名 1995～1997年

③親睦活動(ゴルフコンペ、家族旅行)、同好会活動(ワイン、日本酒、釣り、グルメ、川柳、カラオケの会等)が盛んであり会員間の親睦が図られている。

④例会出席率の高さ ⇨ 会員の出席に対する意識の高さの現れ。ラッキー賞を出張先、旅行先から自発的に持ち寄る活気ある例会

⑤デジタル化推進委員会の活躍でコロナ禍でも、オンライン例会がスムーズに出来る。

⑥I.D.M. (インフォーマル、デスクッション、ミーティング)を開催している。

⑦友好クラブ

東近江クラブとの交流事業が盛んである。

⑧イベント用のクラブの帽子、ウインドブレーカー、ポロシャツを備えている。

⑨国際大会への参加(ご夫婦同伴)も積極的に行われている。

2. 課題

- ①会員増強(女性会員含めて)・会員維持活動(退会防止)
- ②新入会員・入会間もない会員の研修の実施
- ③社会奉仕(地区補助金)の継続性事業 ⇨ 年度毎に変わる
- ④ロータリー財団、米山奨学金への特別寄付。3名指名でなく分割、積み立て?
- ⑤R I 第2600地区、東信第二Gの行事(ロータリーデイ、ロータリー奉仕デイ)とクラブ内奉仕活動
⇨ 年度により方針、取り組み方法が違う(困惑?)
- ⑥上田RC特別会計(ガバナー準備資金2,800,000円)、一般会計の剰余金(コロナ禍による活動自粛)の用途
- ⑦魅力ある例会プログラム ⇨ ゲストスピーカー
- ⑧My Rotaryへの登録
- ⑨公共イメージ向上の施策
- ⑩地域住民を巻き込んだ奉仕活動
⇨ 以前は植樹、河川清掃などで実施済

3. あるべき姿(ビジョンレポート2020より)

ビジョン声明 ⇨ 私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。

※上田ロータリークラブとしては? 未来像

『豊かな自然と歴史、文化溢れる地域において、グローバル社会のなか時代の変化に対応した奉仕活動に目を向け、実施する。そして笑顔で活気溢れるクラブを目指す』

『行動計画』→国際ロータリーが持続可能な変化を生み出すための指針(3年計画)

1. より大きなインパクトをもたらす ⇨ インパクトある奉仕活動

- ①地域性あり、テーマ、対象を決めた、持続性ある地区補助金事業の実施
自然環境保全活動、青少年スポーツ、若手音楽家育成など
- ②ポリオ撲滅はじめ新型コロナウイルス感染収束に向け協力する
- ③地区目標の財団、米山寄付100%の達成と特別寄付の方法を検討する

- ④奉仕活動の告知、成果広報を地域紙はじめ媒体を通じて公共イメージ向上を計る
- ⑤海外への国際奉仕の検討 タイ WATSING RCへ
- ⑥地域のニーズ、課題を探究する
⇨ 原峠、点字図書館 大型寄付の検討 かつては救急車の寄贈

2. 参加者の基盤を広げる ⇨ クラブ基盤の強化

- ①入会候補者リストより会員増強に努める
⇨ 純増目標、オープン例会 毎年2名
- ②HP(ホームページ)の充実
⇨ クラブ計画書同様、アップしている会報の活用
- ③入会間もない会員へのフォロー研修
⇨ I.D.M.等(例会時の会話)
- ④魅力ある例会プログラムと出席率90%を維持
- ⑤運営費と事業費のバランスのとれた予算書の作成(ニコニコBOX会計、特別会計含め)
- ⑥委員会構成を含め組織の見直し ⇨ 継続

3. 参加者の積極的なかわりを促す

⇨ 個人的、職業的な繋がりを築く新たな機会の提供

- ①オンライン例会、会員への連絡事項などデジタル化を推進する
- ②世代を超え、ご家族を含めた親睦活動を今後も積極的に企画し実施する
夜間例会、趣味の会、家族旅行、クリスマス会など
- ③地区大会、地区セミナー、協議会、I.M.等の研修に積極的に参加する

4. 適応力を高める

⇨ 調査と革新を促しリスクを恐れない文化を育む

- ① My ROTARYの登録推進52.83%、『ロータリーの友』、『月信』で情報を得る。
- ②SDGs(持続可能な開発目標)17の目標&169ターゲットを意識した事業遂行
- ③時代の変化に対応する為にクラブ定款、細則等を見直す。
- ④長野県、教育委員会との子供の健全育成の為に包括連携協定締結 20250530
0701 長野県との包括連携協定室 設置

『ロータリーの友』紹介 伊藤 典夫 雑誌副委員長

今月の『ロータリーの友』10月号
が届きました。

2025年10月号ピックアップ

■横開き 4P

「よいことのために手を取りあおう」

■横開き 5P

「一献を紡いで～さけづくりと、まちづくり～」

昨年12月、日本の「伝統的酒造り」はユネスコ無形
文化遺産に登録され、日本酒、焼酎、泡盛は今、世界
から注目を集めています。

■横開き 12～14P

「全国ロータリアン蔵元リスト」

当クラブの三井酒造(資)三井秀和さんの銘酒「真田城」
が掲載されました。

■縦開き 2P

「シウマイの街 鹿沼」～崎陽軒の発展～

今月号も、ロータリー活動のヒントや、興味深い読み
物が満載です。ぜひお手に取ってご覧ください。

【幹事報告】

湯田 勝己 幹事

1. 地区事務所

2025-2026年度

R L I Part II 開催のご案内

「長野県教育委員会 武田育夫

教育長との事前ミーティング」のご案内

ロータリー財団寄付明細表(2025年9月)

米山記念奨学会

①寄付金納入明細総合表(2025年9月)

②寄付金納入明細表(2025年9月)

③表彰一覧(2025年9月)

④寄付金傾向(2025年9月)

第54回ロータリー研究会

「世界ポリオデーフォトコンテスト」へのご応募のお願い
姉妹クラブ・友好クラブに関する情報提供のお願い
(2025年11月30日現在)

松本R Cの住所(ビル名)変更のお知らせ

2. 信濃毎日新聞

上田の児童養護施設子どもらアーティスト選手と交流

3. 例会変更

小諸R C 11/26(水) 12/10(水)・24(水)・31(水) 定受なし

長野東R C 11/5(水)・19(水)・26(水) 12/31(水) 定受なし

12/17定受あり



理事会報告 最低賃金の関係上、10月28日から事務局の
勤務時間が9:30～15:30に変更になります。

【ニコニコBOX】

小山 宏幸 委員長

飯島幸宏さん 石井慧人さん

出田行徳さん 伊藤典夫さん

内河利夫さん 尾台修一さん 小幡

晃大さん 大日方新治さん 金子

良夫さん 上島孝雄さん 窪田秀徳さん 桑原茂実さん

小林秀茂さん 小山宏幸さん 佐藤倫さん 酒巻弘さん

滋野真さん 島田甲子雄さん 鈴木芳朋さん 関勇治さん

滝沢秀一さん 竹田和徳さん 田邊利江子さん 比田井

美恵さん 布施修一郎さん 矢島康夫さん 柳澤日出男さん

柳澤雄次郎さん



本日喜投額 28名 ￥ 31,000

累 計 ￥691,000

【例会の記録】

司会：酒巻 弘 会場・出席委員長

斉唱：ロータリーソング

●会長挨拶 ●幹事報告

●会員卓話 桑原 茂実 戦略計画委員長

●『ロータリーの友』紹介 伊藤 典夫 雑誌副委員長



【ラッキー賞】

上島孝雄さん(佐藤倫さんより 東京町田市の銘菓)

竹田和徳さん(滋野真さんより 雪中梅)



【出席報告】

酒巻 弘 会場・出席委員長

	会員数	出席 ベース	出席 者数	出席 免除(b) ()内は 出席者数	出席 免除(a)	メーク アップ ()内は Make up後	出席率
本日 (10/27)	52	50	41 コロナ欠席 0	4(2)			84.00
前々回 (10/6)	52	51	44	4(3)		0(44) コロナ欠席 0	86.27

【次回例会予定】

11月17日(月) 会員卓話 田中 克明 ロータリー財団委員長

『ロータリーの友』紹介

(11月10日発行)

【会報担当】 高橋 鼓 会報委員